

[シアゾファミド・TPN 水和剤 (フロアブル)]

# ドーシャスフロアブル

有効成分：TPN (化管法1種) ..... 40.0%  
 シアゾファミド ..... 3.2%

性 状：類白色水和性粘稠懸濁液体  
 毒 性：－  
 危 険 物：－  
 有効年限：3年  
 包 装：250ml×40本  
 500ml×20本

ドーシャス：登録商標第 4041484 号

## 〔特長〕

- 疫病菌・べと病菌に優れた活性を示すシアゾファミドと、幅広い病害に安定した予防効果を示すTPN (ダコニール) を有効成分とする。
- 有効成分のTPNとシアゾファミドは共に残効性、耐雨性に優れ、安定した効果が期待できる。
- 有効成分のTPNとシアゾファミドは胞子の形成阻害作用が強く、圃場全体の病原菌密度を低下させることが期待できる。

## 〔適用病害と使用方法〕

作物名	適用病害名	希釈倍数 (倍)	使用用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シアゾファミドを含む農薬の総使用回数	TPNを含む農薬の総使用回数
きゅうり	べと病 うどんこ病 褐斑病 炭疽病 黒星病	1000	150~300 ℓ / 10a	収穫前日まで	4回以内	散布	4回以内	14回以内 (土壌灌注:2回以内、 散布、常温煙霧、 くん煙及び エアゾル剤の噴射: 合計12回以内)
メロン	べと病 つる枯病 うどんこ病			収穫3日前まで				5回以内
すいか	褐色腐敗病 炭疽病 つる枯病		100~300 ℓ / 10a	収穫7日前まで	2回以内		6回以内 (育苗期の灌注: 1回以内、本圃での 株元灌注:1回以内、 散布:4回以内)	3回以内 (は種又は定植前の 土壌混和:1回以内、 散布及び無人航空機 散布:合計2回以内)
たまねぎ	べと病 灰色かび病			6回以内				
はくさい	べと病 白さび病 黒斑病 白斑病	2000	200~700 ℓ / 10a	収穫60日前まで	3回以内	3回以内	3回以内 (休眠期:1回以内)	
トマト	疫病 葉かび病 輪紋病			収穫前日まで	4回以内			4回以内 (土壌灌注:2回以内、 散布、常温煙霧、 くん煙及び エアゾル剤の噴射: 合計4回以内)
もも	黒星病	2000	100~300 ℓ / 10a	収穫前日まで	3回以内	4回以内	4回以内	
ネクタリン				2回以内	2回以内			
ぶどう	べと病 晩腐病 黒とう病	1000	100~300 ℓ / 10a	収穫前日まで	3回以内	4回以内	3回以内	
なす	褐色腐敗病 黒枯病			3回以内				
ピーマン	疫病 斑点病							

作物名	適用病害名	希釈倍数 (倍)	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	シアゾファミド を含む農薬の 総使用回数	TPN を含む農薬の 総使用回数
ねぎ	べと病 黒斑病	1000	100~300 ℓ / 10a	収穫 14日前 まで	3回以内	散布	4回以内	4回以内 (土壌灌注:1回以内、 散布及び無人航空機 散布:合計3回以内)
レタス	べと病 すそ枯病						3回以内	5回以内 (土壌灌注:2回以内、 散布及び無人航空機 散布:合計3回以内)

## 効果・薬害等の注意

- 使用直前に容器をよく振る。
- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきる。
- ぶどうに使用する場合、幼果期（小豆粒大）以降の散布は、果粉の溶脱、品種によっては果実に薬害を生じるおそれがあるので、落花直後までに使用する。
- 無袋栽培のネクタリンに使用する場合、薬液による汚れが生じるおそれがあるので、開花期以降の散布はさける。
- 使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

## 安全使用上の注意

- 誤飲などに注意する。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意する。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。



- 散布の際は農業用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用する。作業後は直ちに身体を洗い流し、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換する。作業時に着用していた衣服等は他のものと分けて洗濯する。



- かぶれやすい人は作業に従事しない。施用した作物等に触れない。



- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。



- 夏期高温時の使用をさける。

- 魚毒性…水産動植物（魚類）に強い影響を及ぼすおそれがあるので、河川、湖沼及び海域等に飛散、流入しないよう注意する。養殖池周辺での使用はさける。使用残りの薬液が生じないように調製し使いきる。散布器具及び容器の洗浄水は河川等に流さない。空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。

[保管]：直射日光をさけ、なるべく低温な場所に密栓して保管する。

化管法に対応するその他の注意事項は別表の分類4に表示してある。

農業登録（登録番号）：エス・ディー・エス バイオテック（21185）、石原産業（21199）

販売：石原バイオサイエンス